関西医科専門学校　理学療法学科　2025年度　前期　講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
生涯学習論	基礎科目	Ⅰ部3年	講義	15	1

担当教員	実務経験
山根好史	療養病床、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどで地域理学療法を中心に10年従事。併行して整形外科外来で定期的に25年従事。

講義概要

医療に携わる者は「生涯」を通して学習が必要である。常に進歩していく医療、常に変化していく患者の状態に対して適切な対応ができるためには生涯学習というものが欠かせない。当該科目では生涯学習を進めていくための基本的な心構え、生涯学習の入り口となる就職先の選び方、就職活動の進め方などを学ぶ。

講義目標

【一般目標】	生涯学習の必要性を知る 就職活動に向けての準備ができる
【行動目標】	就職活動に向けての自己分析、希望分野が整理できる 就職活動に向けての模擬面接で、自身の面接姿勢を振り返ることができる

回数	授業内容
1	オリエンテーション
2	PTの就職先と本校の就職活動
3	自己分析
4	履歴書作成
5	模擬面接

指定教科書	参考図書
なし	なし

評定方法	準備物・注意事項
講義内課題100%	なし

関西医科専門学校　理学療法学科　2025年度　前期　講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医療研究論	専門基礎科目	Ⅰ部3年	講義	30	1

担当教員	実務経験
田中　嵩樹	回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。

講義概要

研究の基本を学び、文献抄読、文献検索、統計学の演習を通して理学療法研究について学ぶ。

講義目標

【一般目標】	理学療法研究の分類や流れを理解し、基礎知識を習得する。 理学療法研究に興味を持ち、生涯学習の意欲を高める。 臨床場面における研究の必要性を理解する。
【行動目標】	研究の基礎(評価指標)を選択および記述できる。 研究の基礎(デザイン)とエビデンス、EBMを記述または説明できる。 統計の検定結果を簡潔に算出および説明できる。 論文を抄読し、どのデザインに当てはまるか説明できる。

回数	授業内容
1	理学療法研究、研究の評価指標、信頼性と妥当性
2	研究の流れ、研究倫理、論文の構成、論文の検索
3	エビデンス、グラフや表の読み取り方
4	研究デザイン①
5	研究デザイン②
6	研究デザイン③・グループワーク

指定教科書	参考図書
なし	標準理学療法学　理学療法研究論 医学統計の基礎のキソ1.2.3 マンガでわかる統計学　素朴な疑問からゆる～く解説

評定方法	準備物・注意事項
成績：講義内試験80%、講義内課題20%	USBフラッシュメモリ（16GB以上の空き容量がある）

関西医科専門学校　理学療法学科　2025年度　前期　講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
総合臨床実習	臨床実習	Ⅰ部3年	実習	675	15

講義概要

臨床実習指導者の下で多くの臨床経験を重ねることで、実践的な理学療法技術や思考過程ならびに理学療法士としてのソーシャルスキルを習得する機会とする。これをもって「基本的理学療法技術をある程度の助言・指導の下に行える」段階を目指す。

講義目標

【一般目標】	積極的な診療参加を通して、新人理学療法士に必要な基本的理学療法技術を経験する。 理学療法評価に基づき、対象患者の情報を整理して臨床実習指導者とディスカッションできる。 理学療法学生として患者や関連職種と適切にかかわることができる。
【行動目標】	実習前のOSCEで自己の臨床能力を客観視する。 実習前認知領域テストで自己の知識量を客観視する。 学内実習で模擬症例に対する治療の想起、学生同士での練習を実践する。 実習指導者・患者に対する医療現場での適切な礼節を実践する。 通所リハ・訪問リハの現場に参加し、地域医療における理学療法の役割を経験する。 評価表に基づいて多くの臨床技術(評価・治療)を経験する。 臨床実習では多種多様な疾患・障害に対する臨床技術を経験する。 実習課題を毎日作成し、臨床実習指導者に指導を仰ぐためのツールとする。 症例情報を整理することで、経験症例に対する理解到達度を確認する。

	時期	内容
学内実習	4月10日～4月28日	実習前ゼミ、実習前学習 実習前OSCE、実習前認知領域テスト
Ⅰ期	5月7日～6月21日	総合臨床実習7週間
学内実習	6月24日～6月30日	実習中ゼミ、個人面談、症例検討等
Ⅱ期	7月7日～8月30日	総合臨床実習8週間
学内実習	9月2日	実習後ゼミ、個人面談
補充実習	9月15日～9月27日	対象者のみ

指定教科書	参考図書
2025年度総合臨床実習　臨床実習の手引き	なし

評定方法	準備物・注意事項
実習に関わるゼミの状況、関連書類の提出状況、実習前OSCE結果、実習前認知領域テストの結果、実習先での臨床技能の経験値と指導者による評価、教員への定期連絡状況などを全て加味して総合的に評定する。 なお学内実習においても指導要項に記載したルールを採用する。	学内実習、臨床実習には必ず2025年度総合臨床実習 臨床実習の手引きと実習ファイルを携行すること。 実習前OSCEの結果、実習前認知領域テストの結果、実習評価表の履歴は実習ファイルへ綴じ、配属実習施設への通達事項とする。 学内実習期間の詳細日程は別途提示する。学内実習では身だしなみチェックを行う。学内実習での身だしなみ不備、忘れ物、態度不良、遅刻・欠席等は全て当該科目からの減点対象事項となる。また学内実習の段階で実習を中断・中止する場合がある。 実習中止の場合は、修了時間数を問わず単位取得不可となる。